

# めぐり 施設

中福受水場  
TEL 243-2840



広々とした畑に囲まれているためでしょうか、配水池（タンク）は、ひときわ大きく見えます。全部で四つある配水池には、合わせて七万立方メートルの水を蓄えることができます。この量は、小学校にあるプールで換算すると二百八十杯分、市民全体が一日で使う水の三分の二に相当します。管理棟では、安全に水を送るため、24時間体制でポンプの稼働状況や、水質などを監視しています。



川越市は、かつて地下水で水道水を賄っていましたが、人口増加により水が不足しました。そこで、利根川や荒川を水源とした水道水を県から受けるために、同受水場が昭和49年に完成しました。これから暑い時期を迎え、水を使うことが多くなります。「水は限りある資源」です。大切に使いましょう。

## 児童・生徒の作文⑪

平成19年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

教育指導課・TEL 224-6114

### インターネットの在り方②

中学3年生

他にもインターネットでは、個人情報（ほか）の漏洩（もつ）という問題がある。私たちの知らないところで、私たちのメールアドレス、住所、電話番号など個人の情報が漏れているのである。それらを漏らしているのは自分かもしれないし、友人、あるいはネット上での友達、はたまた、まったく知らない人であったりする。別に実質的被害はないから個人情報などどうでもいいという人もいるかもしれない。しかし、多くの人々が集まるようなコミュニティサイトなどで、個人情報や私生活をさらされていたら、どう思うだろうか。これはまさしく人権の侵害なのである。安易に自分の情報を振りまくことは、簡単に相手が自分の人権を踏みにじることができている状況を作っているのと同じことなのである。楽しいサイトや便利なサイトに登録することをいけなとは言

わないが、もつと自分の人権を大切に、情報を使う場を見極めてほしいと思う。繰り返す言うが、今は誰でもインターネットを使える時代だ。良い人も悪い人もいる。それを見極めることができないのなら、この世界に安易に踏み込むべきではない。他人のことを傷つけてしまうかもしれないし、逆に自分が傷つけられてしまうかもしれない。あなたがこの広いインターネットに迷い込むのを今か今かと待っている人はたくさんいる。いつでも足をすくわれてしまう危険性はあるのだ。インターネットの裏に潜む危険性やインターネットにおける「言葉」の重要性を理解して、相手を思いやることができるようになったとき、初めてインターネットというものの本来あるべき姿が見えてくるのではないだろうか。

に登録することをいけなとは言

\*ふりがなは広報室で付けました。  
（終わり）



問い…昨年途中で会社を退職し、それ以来収入がありません。自宅に個人住民税の納税通知書が送られてきましたが、納めなくてははいけませんか？

答え…納付することになります。

今年課税される住民税は、昨年1月から12月までの所得に基づいて計算しています。従って、昨年中に退職した方は、現在収入がなくても、昨年の所得に応じた住民税を6月から納付することになります。

また、中途退職で住民税が給与天引きされていた方は、1年間の税額から給与天引き分を差し引いた住民税の納税通知書が送られる場合があります。

問い合わせ…市民税課個人住民税担当・TEL 224-5640

# けんこうモ 家族や仲間と食事を 楽しみましょう

健康づくり支援課健康づくり支援担当・TEL229-4121

毎日誰と食事をしていますか？平成17年度「児童生徒の食生活等実態調査」によると、夕食を「家族そろって」または「大人の家族の誰かと食べる」と答えている小学生は89・3パーセント、中学生は83・5パーセントです。これは、同12年度と比較して小学生で6ポイント、中学生で7・5ポイント減っています。

近年、一世帯当たりの人数が減

り、両親が働いていたり、子供が塾通いしたりなどで、家族そろった食事が難しくなりつつあります。子供のときから一人で食事すると、おいしそうな料理が並んでいても、「食事が楽しくない」、「待ち遠しくない」など、心が満足できなくなる場合があります。また、一人で食事をするとき、食へのペースが速くなり、食べ過ぎにつながる場合があります。生涯に

わたって健康な生活を送るには、子供のころからバランスの良い食事をとることや、食事の時間を楽しく過ごす体験が大切です。毎日の生活で、一日三食、主食（御飯・パンなど）・主菜（肉・魚など）・副菜（野菜・海藻類など）をそろえた食事をとりましょう。また、家族や仲間などと顔を合わせる機会を増やしながら食



川越市地球温暖化対策地域推進計画の重点プロジェクト①では、温暖化をひと事だけでなく自分たちの問題とする「自分ごと化」、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の削減量などを数字で実感できる「見える化」を進めます。それを基に、「川エコ市民運動」を6つの施策で実践します。

「自分ごと化」「見える化」を実践する施策の1つに、「エコチャレンジファミリー」があります。市から無料で貸し出す測定器で、市民の皆さんが電力量などをチェックしながら省エネに取り組みます。参加した家庭からは「省エネナビは、電気の使用量がすぐ分かり、無駄な電気は消すようになった」「ワットチェッカーは、ゲームをするように家電を測定でき、楽しく家族で省エネに取り組めた」などの感想が寄せられました。

その他の施策には、「エコチャレンジスクール」「エコチャレンジイベント」「川エコの知恵の普及」「マイバッグキャンペーン」「市民環境調査」があります。「川エコ市民運動」で環境に優しい生活を実践し、平成24年までに約5,800 tのCO<sub>2</sub>の削減を目標とします。

次回は、企業活動が主題の重点プロジェクト②「エコチャレンジカンパニー普及促進」を取り上げます。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866

## 消費生活 レポート

168 年金のように、毎月配  
当が受け取れる？

### 事例

「一万五千円分の健康食品を毎月購入し続ける」と、月に四千円の配当が年金のように受け取れる。長く続けるほど配当は高額になり、二年後は、月に二十五万円になる」と知人から勧められ二口契約した。また、「更に、人を紹介して商品を買ってもらえれば、ボーナスが出る」とも言われた。それから九か月たつが、初回分の配当しか振り込まれない。

高齢者が、健康状態や将来の生活費などで感じる不安につけ込み、商品を買いつけるほど配当が増えていくと勧誘する悪質な手口です。「年金のように毎月配当を受け取れる」、また「人を紹介すればボーナスがもらえる」などと、うその言葉でもちかけます。

### 消費者へのアドバイス

簡単にもうかる話はありません。その場で契約しないでください。親しい人からの誘いであっても、その人はだまされているかもしれません。契約や金銭を支払う前に、家族・身近な人などや生活情報センターに相談しましょう。

### 消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月25日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ…生活情報センター（アトレ六階）  
TEL226-7066  
（相談専用・TEL226-7476）

Report